

スキャンキュー
ScanQ
ポータブルオートスキャナー

取扱説明書 兼 保証書

この度は、ポータブルオートスキャナーをお買い求めいただき誠にありがとうございます。こちらの取扱説明書をよく読んで頂きご利用ください。

本製品を使用したことによるデータの消失などにつきましては、一切保証致しかねます。商品のサポート時に本保証書とお買い上げのレシートなどが必要になりますので大切に保管願います。当社において修理が困難と判断した場合は、同等品と交換させていただきます。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

異常な音や発熱、異臭がした場合はすぐに使用を中止して電源を切り、お手を触れずにすぐに販売店または弊社までご連絡ください。

ご自分で分解・改造・修理はしないでください。けがや火傷、感電の恐れがあります。内部の点検や修理は販売店または弊社にご相談ください。

小さなお子様だけの使用、乳幼児の手の届くところでの使用および保管は避けてください。けがや火傷、感電の恐れがあります。

バッテリーのご注意

警告：

バッテリーの漏れや過熱や爆発を防止するため、次の注意事項を守ってください。

- ・バッテリーは本製品を利用して充電してください。
- ・ネックレスやヘアピンなど、金属物と一緒に、バッテリーを保存しないでください。
- ・バッテリー本体を落下させたり、叩いたり、折り曲げないでください。

注意：

- ・高温下（強い直射日光の下や、高温の車内など）でバッテリーを使用したり、放置しないでください。過熱や火災の恐れがあります。また、性能が劣化したり寿命が短くなります。
- ・バッテリーが漏れ、電解液が眼に入った場合：眼をこすってはいけません。きれいな流水で眼をすすぎ、直ちに医師の手当を受けてください。放置しておくと、眼病疾患になることがあります。
- ・使用中や充電中や保管中に、バッテリーが異臭を発したり、熱を発生したり、変色や変形などの異常が見られたら、直ちに機器から取り外し、充電や使用を中止してください。

パッケージ内容

内容物をお確かめください

スキャナー

USB ケーブル (PC 接続 & 充電用)

マイクロ SD カード
(アダプター付き)

クイックガイド

キャリーバッグ

キャリブレーションシート

クリーニングクロス

リチウムバッテリー

取扱説明書兼保証書 (本書)

PAPERPORT SE 14 (Windows)

(OCR 付ファイル管理ソフト)
※ご利用に関しては P26 のトラブルシューティングの付属 CD に関してご確認ください。

USB 電源アダプタ

A タイプ

C タイプ

BF タイプ

O タイプ

電源アダプター用プラグ

(日本での利用の場合は A タイプを利用してください。)

ご注意

1. 同梱の AC アダプターおよびリチウムバッテリーのみをご使用ください。他の使用は装置の故障の原因となり、また保証事項が無効となります。
2. パッケージを開梱し、同梱物をチェックしてください。欠品や故障がある場合は、直ちに販売店にご連絡ください。

製品に関して

FCC 無線周波数干渉

本機器は、無線周波エネルギーを放射します。製造元の取扱説明書に従わずに使用した場合、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因になります。本機器は、テストの結果 FCC 規則 15 条に順ずる Class B デジタル デバイスの制限にしたがっていることが認められています。これらの制限は、本機器が居住地域においてインストールされたときに、有害な干渉に対する適切な保護を提供するためのものです。ただし、特別なインストールを行った場合、有害な干渉の原因にならないことは保証できません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼす原因かどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることにより確認することができます。本機器が原因の場合、次の方法をいくつかお試しになり、干渉を修正するようお勧めします

- －受信アンテナの方向や位置を変える。
- －本機器と受信機の位置間隔を変える。
- －本機器を受信機が接続されている回線とは別のコンセントに接続する。

上記の設定が必要な場合は販売元又は熟練したラジオ / テレビ技師にお問い合わせください。この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

欧州連合規定

CE マークを有する製品は、以下の EU 指示に準拠しています。

低電圧指示 2006/95/EC
EMC 指示 2004/108/EC
特定有害物質使用制限 (RoHS) 指令 2011/65/EU

*本機はクラス 1 レーザー製品として承認されています。

Avision が提供する CE マーク付き AC アダプターを電源とする場合、この製品は正しく CE に準拠します。この製品は EN55022、EN55024 の Class B 限界、および EN60950 による安全要求条件を満たしています。

各部詳細

番号	名称	説明
1	ポイント	用紙を挿入口に挿入します。印刷された面を上向きにして左端に揃えて挿入し、スキャンを開始します。
2	挿入口	用紙を挿入口に挿入します。
3	ガイドレバー	用紙を挿入口に挿入する前に、ガイドを利用用紙の右端までスライドします。こうすることで、スキャンの際に正しくスキャンできます。
4	電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・このボタンを軽く押ししてスキャンの電源をオンにします。電源が入ると、青い LED ライトが点滅し、電源ボタンが緑色に点灯します。 ・電源がオンの場合は、このボタンを押してスキャン解像度を変更します。 緑 (JPG/300dpi) → オレンジ (JPG/600dpi) → 赤 (JPG/1200dpi) ↓ ↑ 赤 (PDF/1200dpi) ← オレンジ (PDF/600dpi) ← 緑 (PDF/300dpi) ・このボタンを 3 秒間押し続けると、スキャンの電源がオフになります。青い LED ライトが 2 度点滅し、電源の LED ライトが消えます。
5	インジケータ	画像は PDF ファイル形式で保存されます。(電源をオンにした後で、電源ボタンを 3 回繰り返し押しすると、ブルーに点灯します。(PDF モード))
6	SD カードスロット	SD カードを挿入して、ストレージ容量を増やします。
7	マイクロ USB ポート	USB ケーブルを使用して、USB 電源アダプタまたはコンピュータに接続します。

解像度と保存形式

名称	説明
カラーモード	すべての画像がカラーモードでスキャンされます。
スキャン解像度	スキャン解像度は DPI(ドット/インチ) 単位です。DPI が高いほどスキャンは元の画像の詳細をキャプチャするので、スキャンした画像の品質がよくなります。しかし、DPI が高いと画像サイズが大きくなって、ストレージ領域を多く使用します。 スキャナには3つの解像度モードがあります。それぞれの解像度モードは、電源ボタンの色で分かります。 緑色=300dpi (電源をオンにした際のデフォルト解像度) オレンジ色=600dpi ファイン解像度 赤色=1200dpi 最大解像度 スキャン解像度を変更するには、希望する解像度の色に変わるまで電源ボタンを押します。
保存形式	スキャンした画像は JPEG 形式または PDF 形式で保存されます。 JPEG: スキャンがオンで、緑色の LED が点灯している場合は、300dpi の JPEG 形式でスキャンします。電源ボタンをもう一度押します。オレンジ色の電源 LED が点灯している場合は、600 dpi の JPEG ファイル形式でスキャンします。もう一度押すと赤色の電源 LED が点滅している場合は、1200dpi の JPEG ファイル形式でスキャンします。 PDF: スキャンがオンの場合に、電源ボタンをもう一度3回押すと、青色の LED と緑色の電源 LED が同時に点灯します。この場合は、画像は PDF ファイル形式でスキャンします。緑色の電源 LED が点灯している場合は、300dpi。オレンジ色の電源 LED が点灯している場合は、600dpi の PDF ファイル形式でスキャンします。電源ボタンをもう一度押すと、赤色の電源 LED が点灯し、1200dpi の PDF ファイル形式でスキャンします。 緑色=PDF/300 dpi オレンジ色=PDF/600 dpi 赤色=PDF/1200 dpi

電源ボタンのカラーについて

電源ボタンは、操作に従って、点灯する色または点滅する色でスキャナーの状態を表示します。次を参照してください。電源ボタンが消灯している場合は、スキャナーの電源はオフです。

動作	意味
緑色で点灯	300dpi (電源をオンにした際のデフォルト解像度) でスキャンする準備ができました。
緑色でゆっくり点滅	300dpi でスキャンしています スキャナーのキャリブレーション処理を開始すると、緑色でゆっくり点滅して、スキャナが「キャリブレーション」モードであることを表します。詳細については23ページの「スキャナーをキャリブレーションする」を参照してください。
オレンジ色で点灯	600dpi でスキャンする準備ができました
オレンジ色でゆっくり点滅	600dpi でスキャンしています
赤色で点灯	1200dpi でスキャンする準備ができました
赤色でゆっくり点滅	1200dpi でスキャンしています

電源ボタンが速く点滅する場合は、エラー状態を意味します。次を参照してください。

動作	意味
赤色で早く点滅	フィーダーが詰まっているか、または、スキャナのカバーが開いています。
緑色、オレンジ色、赤色で早く点滅	内蔵メモリまたはメモリカードが一杯です (点滅する色は DPI 設定によって異なります)。または、スキャンしたページが許容範囲を超えています。

ストレージ容量について

内蔵メモリ

スキャナーの内蔵メモリの容量は約 128 MB です。画像を保存するために使用できます。メモリカードが挿入されていない場合は、スキャンしたファイルは、スキャナーの内蔵メモリが一杯になるまで (300 DPI 設定の場合は 2 MB 未満の残り容量、600 DPI 設定の場合 5 MB 未満の残り容量、1200 DPI 設定の場合は 15 MB 未満の残り容量)、自動的にスキャナの内蔵メモリに保存されます。内蔵ディスクが一杯になった場合は、メモリカードを挿入して、スキャンを続けるか、または、スキャンした画像を内蔵メモリからパソコン上のフォルダへ移動します。

SD カード

SD/SDHC カードは 32 GB までは、スキャナーと互換性があります。ストレージ容量を追加するために、メモリカードを使用することを推奨します。大量にスキャンしたり、高い解像度でスキャンすると、スキャナの内蔵メモリは直ぐに一杯になります。メモリカードに保存できる画像の数は、元のサイズと解像度設定によって異なります。

スキャンの際の注意事項

多くの用紙をスキャンするには SD カードを挿入することを推奨します。こうすることで、スキャンしたファイルを内蔵メモリからパソコンのフォルダへ移動頻度を少なくできます。

スキャン中は、SD カードを取り外したり、電源供給を切断しないでください。用紙を平らにして挿入してください。こうすることで紙詰まりを防止します。スキャンした画像の品質を最適化するために、用紙に指紋、油、汚れ、および、埃が付かないようにしてください。用紙を挿入口の左端に揃えて挿入し始めると、フィーダーのセンサーが動作し、用紙は自動的に送り込まれます。わずかに減速してスキャンが終了します。

正しく用紙を挿入する

- 用紙をポイント (挿入口の左端) に揃えます。
- ガイドスライドを用紙の右端に揃えます。
- スキャナーの後ろに、用紙を排出するための十分な空間があることを確認してください。

同じ文書を異なる方向にスキャンすると、スキャンした画像の色のトーンと明るさが多少異なる場合があります、これは誤動作ではありません。

メモリカードが一杯になると、インジケータライトが点滅し始めます (色は DPI 設定によって異なります)。他のカードを使用するか、または、一杯になったカードの領域を空にします。

スキャナが対応するのは、FAT16 または FAT32 ファイルシステムのメモリカードだけです。NTFS ファイルシステム、および、その他のファイルシステムに対応しません。

機能・スペック一覧

項目	説明
型番	ScanQ
イメージセンサー	CIS
最大用紙サイズ	600 dpi/1200 dpi では 8.5" x14" (216x356mm) 300 dpi では 8.5" x36" (216x914mm)
自動電源オフ	3分
インターフェース	メモリカード SD カードスロット
	USB USB2.0 仕様でマイクロ USB ポートに対応
マストレージ	内蔵 128MB NAND フラッシュメモリ
送り機構	ツインローラー
対応 OS	Windows XP/Vista/7/8/8.1 Mac OS 10.5 以上
出力ファイル形式	JPEG、PDF
スキャン解像度	300dpi(デフォルト)、600dpi、および、1200dpi
USB 電源	5V,500mA
バッテリー	3.7V,700mAh
バッテリー駆動時間	200 枚 (A4、カラー、300dpi)
	150 枚 (A4、カラー、600dpi)
	85 枚 (A4、カラー、1200dpi)
本体重量 (バッテリー無し)	約 400g
寸法 (幅 x 長さ x 高さ)	290x52x35mm
動作環境	温度: 5°C~35°C
	湿度: 20%~85%

セットアップ

取り付け

ご注意

- スキャナーを直射日光にさらさないでください。直射日光または高熱にさらすとユニットの故障の原因となります。
- スキャナーを湿気または埃の多い場所に置かないでください。
- スキャナーは水平でなめらかな面に置いてください。傾斜や凹凸のある面では機械の不具合や給紙に問題の生じる場合があります。
- スキャナーの箱および包装材料は後での梱包用 (返送など) に保存しておいてください。

保護テープを剥がします

図のように、スキャナーと内部の保護テープを剥がします。



バッテリーの取り付け

1. スキャナーのバッテリーカバーを引っ張って外します。



スキャン方法

適切な用紙の種類と不適切な用紙の種類

適切な用紙

スキャナーは、次の種類の用紙を最適にスキャンできるように設計されています：

- 写真と文書（写真：L版、KG版 用紙：A6、A5、A4）
- 名刺 [標準の 3.5" x 2" (89x50mm) 以上]
- 300 dpi 程度の長いページ (8.5" x 36") (216x916mm)

不適切な用紙の種類

次の種類の用紙はスキャンしないでください。スキャナーが誤動作したり、挿入口で紙詰まることがあります。

- 0.8mm 以上の厚みのある用紙
- 短辺の長さが 50mm 未満の用紙
- 黒または暗い色が多い用紙
- 周囲が暗い色で囲まれている用紙
- 印刷媒体（新聞紙、雑誌など）
- 柔らかくて薄い用紙（薄紙や布など）
- 丸まったりしわが寄った用紙
- ホチキスの針やペーパークリップの付いた用紙
- 受け入れ可能なサイズを超える用紙 - 8.5" (216mm, 幅) x 14" (356mm, 長さ) (600 dpi/1200 dpi)

2. バッテリーケースにバッテリーを入れます。必ず正しい方向に入れてください。バッテリーの銅板が、バッテリーケースの銅板に接触していることを確認してください。注：付属のバッテリーのみを使用してください。



3. バッテリーカバーを挿入します。

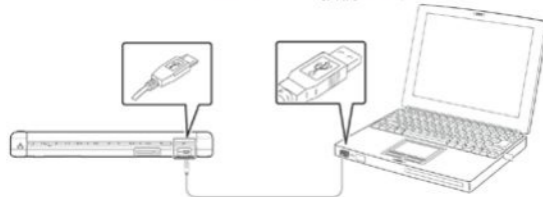


バッテリーを充電する

バッテリーは、USB ケーブルを仕様してコンピュータに接続するか、または、USB 電源アダプターを使用してコンセントに接続して充電します。

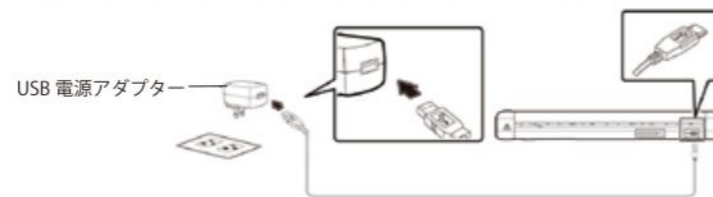
USB ケーブルを使用する場合

- ① スキャナーの電源をオフします。
- ② マイクロ USB コネクタをスキャナーの USB ポートに接続します。
- ③ もう一方の USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続します。



USB 電源アダプターを使用する場合

- ① スキャナーの電源をオフにします。
- ② マイクロ USB コネクタをスキャナーの USB ポートに接続します。
- ③ もう一方の USB コネクタを USB 電源アダプターの USB ポートに接続します。

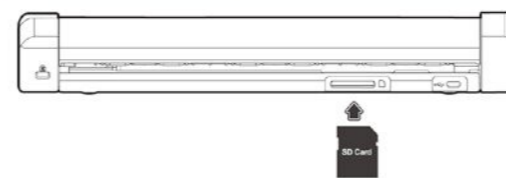


重要

- バッテリーの充電中はスキャナーの電源をオンにしないでください。
- 初めて使用する場合は、バッテリーを最低 2 時間充電してください。
- スキャナーはバッテリーなしで使用できます。スキャナーを付属の USB ケーブルでパソコンに接続、または USB ケーブルで USB 電源アダプターを通じてスキャナーをコンセントに接続します。
- バッテリーの充電中は、青色の LED ライトが点灯します。充電が完了すると LED ライトは消灯します。
- バッテリーがフルに充電されると、A4 サイズが 300 dpi で 200 ページ、600 dpi で 150 ページ、または 1200 dpi で 85 ページ、スキャンすることができます。

SD カードを取り付ける

スキャナーの内蔵メモリの容量は約 128 MB です。画像を保管するために使用できます。SD カードをスキャナーの SD カードスロットに挿入して、ストレージ容量を増やすことができます。カチッと音がして止まるまで SD カードを丁寧に差し込みます。



スキャナーの電源をオンにする

電源ボタンを押してスキャナーの電源をオンにします。電源が入ると、インジケータの青い LED ライトが点滅し、電源ボタンが緑色に点灯します。緑色で点灯する場合は、300 dpi デフォルト解像度であることを意味します。スキャナー解像度を変更するには、LED ライトの色が希望する解像度の色に変わるまで電源ボタンを繰り返し押します。

緑色 = 300 DPI (スキャナーの電源をオンにした際のデフォルト解像度)

オレンジ色 = 600 DPI

赤色 = 1200 DPI

用紙を挿入する

重要

- ページは一度に 1 枚ずつ挿入して、前のページのスキャンが終了してから次のページを挿入してください。そうしないと、スキャナーが誤動作することがあります。
- 高感度の用紙検出器が搭載されています。用紙を挿入口に押し入れないでください。用紙を挿入口に無理やり押し入れると、画像の上部が切れたり用紙が破損することがあります。用紙が送りが開始したら、手を放してください。

1. 用紙の表を上向きにして挿入して、挿入口の左端に揃えます。ガイドレバーをスライドして用紙の右端に揃えます。



ガイドレバー

2. 用紙を挿入口に丁寧に押し入れ、送りが開始したら手を放します。送りが開始すると、スキャナーはわずかに一時停止してから、送りを続けます。
3. インジケータライトの点滅が停止してから、次の用紙を挿入してスキャンしてください。
4. デフォルトでは、すべての画像は JPEG ファイル形式で保存されます。スキャンが完了すると、スキャナーが SD カードまたは内蔵メモリに "DCIM ¥ 100PHOTO" という名前のサブフォルダのあるフォルダを作成します。このフォルダに、最初の 9999 のスキャン画像を保存できます。その後、次の 9999 のスキャン画像用に "DCIM ¥ 101PHOTO" フォルダが作成されます。(それぞれのスキャン画像は、IMG で始まり、画像の保存順序を示す 4 桁の番号がついたファイル名が付きます。IMG_0001.jpg、IMG_0002.jpg、など。)

注記：

- インジケータが点滅中は SD カードを取り外さないでください。
- SD カードがほぼ一杯 (1 MB 未満) になると、インジケータライトが点滅します。必要場合は、別の SD カードを使用するか、ファイルをいくつか削除してください。
- 用紙にホチキス、クリップ、または、付箋が付いている場合は、取り外してから挿入してください。そうしないと、スキャナーが破損することがあります。

ファイル形式を変更する

スキャナーは 2 種類のファイル形式に対応します。デフォルトでは、すべての画像の JPEG の形式で保存されます。または、PDF ファイル形式に切り替えることができます。文書を PDF ファイル形式で保存する場合は、次の手順に従ってください：

1. 電源ボタンを押してスキャナーの電源をオンにします。
2. 電源ボタンを 3 回押します。青色の LED ライトが点灯します。画像は PDF ファイル形式で保存されます。電源ボタンをもう一度押して解像度を変更します。
 - 緑色 = PDF ファイル形式 / 300 dpi
 - オレンジ色 = PDF ファイル形式 / 600 dpi
 - 赤色 = PDF ファイル形式 / 1200 dpi

余白のある写真をスキャンする

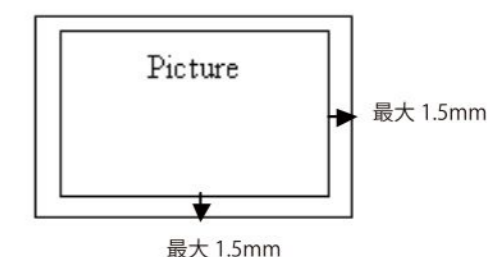
スキャナーに自動切り抜き機能が内蔵されています。自動切り抜き機能は、スキャン処理中に自動切り抜き枠の背景値を使って、余白を自動的に検出して自動切り抜きします。正しく自動切り抜きするために、用紙は挿入口の左端に真っ直ぐに揃えてください。また、スキャナーの後ろに、用紙を排出するための十分な空間があることを確認してください。平らな面でスキャンすることを推奨します。

次の例は、4" x 6" の写真を自動切り抜き機能を使用してスキャンした場合と、自動切り抜き機能を使用しなかった場合の比較です：



元の写真 / 自動切り抜きオン (デフォルト)

元の写真を僅かに歪んだ状態で挿入すると、元の写真は事前設定した最大量しか自動切り抜きされません。次の図を参照してください。



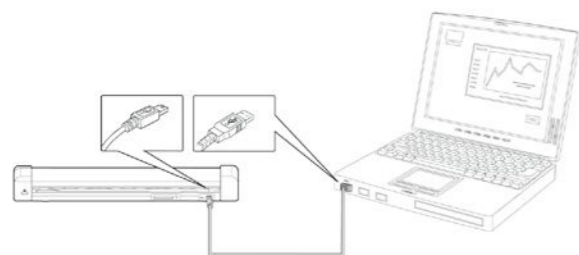
スキャンが完了したら、電源ボタンを3秒間押し続けてスキャナーの電源を切ります。インジケータの青いLEDライトが2度点滅し、電源のLEDライトが消えます。スキャナーを3分間操作しないと、デフォルトでは、節電モードによってスキャナーは自動的にオフになります。

スキャンした画像にアクセスする

スキャナーをパソコンに接続すれば、外付けカードリーダーを使用しなくても、スキャナーの内蔵ディスクまたは挿入したメモリーカードに保存したスキャン画像にアクセスできます。スキャナーをパソコンに接続して、スキャンした画像ファイルを表示したり、他の領域にファイルをコピーしたり貼り付けたりできます。また、不要なファイルを削除することもできます。

パソコンのシステム要件

- オペレーティングシステム：Windows-XP,Vista,Windows 7,Windows 8
- Mac OS 10.5,10.6, またはそれ以降
- USB ポート：USB 2.0



接続に関する事項

SDカードを挿入した場合は、SDカードのボリュームのみ認識します。また、SDカードが未挿入の場合は、内蔵メモリのみ認識します。キャリブレーション時は内蔵メモリが初期化されますのでこの作業でバックアップを取るようにしてください。

1. スキャナーの電源をオンにします。
2. スキャンした画像が保存されているメモリーカードをカードスロットに挿入します。画像が内蔵メモリに保存されている場合は、この手順はスキップしてください。
3. 付属のUSBケーブルをスキャナーとパソコンに接続します。
4. パソコンは、カードまたはスキャナーをリムーバブルディスクとして認識します。
5. 「リムーバブルディスク」をクリックすると、「DCIM」のフォルダを作成され、すべてのPDFファイルは「200DOC」のサブフォルダに、JPEGファイルは「100PHOTO」のサブフォルダに保存されます。ファイル名はIMG_0001.pdf または IMG_0001.jpg から始まります。

Mac コンピュータと接続する

コンピュータがスキャナーの内蔵メモリまたは挿入したメモリーカードを認識すると、Finder にボリュームアイコンが表示されます。内蔵メモリまたはメモリーカードのデータを表示するには、このアイコンをダブルクリックして操作します。

スキャンした画像にアクセスする

スキャンされた画像には、IMG_ で始まり、画像の保存順を示す4桁の番号が付いた名称が与えられます。例えば、IMG_0001.jpg、IMG_0002.jpg、IMG_0001.pdf、IMG_0002.pdf などです。

JPGファイルは、DCIM¥100PHOTO とタイトルの付いたサブフォルダに保存されます。フォルダに9999の写真ファイルが保存されると、101PHOTO とタイトルの付いた別のサブフォルダが順に、199PHOTO まで自動的に作成されまで作成されます。

PDFファイルは、DCIM¥200DOC とタイトルの付いたサブフォルダに保存されます。フォルダに9999の文書ファイルが保存されると201DOC とタイトルの付いた別のサブフォルダが順に、299DOC まで自動的に作成されまで作成されます。

注意：パソコンが保存したファイルにアクセスしている間は、メモリーカードを取り外したり、USBケーブルの接続を外さないでください。

スキャナーを Windows パソコンから取り外す

1. Windows のシステムトレイで、次のように「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
2. 「USB マスストレージデバイスの安全取り外し」-「ドライブ (<ドライブ文字:>)」をクリックします。
3. 「ハードウェアを安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、スキャナーのUSBケーブルを安全に取り外すことができます。

Mac からスキャナーを取り外す

1. ファインダーのボリューム名の横にあるイジェクトボタンをクリックします。または、デスクトップ上のボリュームアイコンをクリックして、ゴミ箱へドラッグして移動します。
2. スキャナーをパソコンから取り外します。

ezShare を使う場合

当社指定のWi-Fi SDカードの「ezShare」をご利用になる場合は、下記の「スキャナーの日付設定をする」を行って頂く必要があります。日付機能をスキャナーに付与することで「ezShare」を有効に使用できるようになります。ezShareはスキャナーのバッテリーを利用しますので節電モード時は接続が切れます。詳しくは、ezShareの取り扱い説明書も参考にしてください。

スキャナーの日付設定をする

「トラブルシューティング」のP29の「よくある質問と回答」をご確認ください。一度設定を行うと、日付機能はバッテリーが取り外されたり完全になくなるまで機能は継続されます。日付機能が初期化された場合は、再度手順を追って頂くことになります。

メンテナンス

詰まった紙を取り除く

フィーダーに詰まった紙を取り除くには、電源ボタンを3秒間押し続けていったん電源をオフにしてから、もう一度電源をオンにします。詰まった写真が自動的に排出します。



用紙が排出されない場合は、次の手順に従って用紙を取り除きます：

- ① 1本の親指をフィーダーの上に置き、もう1本の親指をカバーの上に置いて、支えながらカバーを開きます。丁寧にしっかりと親指をフィーダー内に押し入れて、カバーを開きます。こうすることで、スキャナーの上部をスキャナーの底部から解除します。



- ② 用紙を取り除きます。



- ③ カバーを閉じ、用紙を挿入し直して、もう一度スキャンします。

スキャナーをキャリブレーションする

キャリブレーションが必要なのは、スキャンした画像が不鮮明な場合、色が異常な場合（例えば、通常より暗い場合）、8000回を超えてスキャンした後、またはスキャナーを長期間使用せずに保管していた場合だけです。キャリブレーション処理で密着型センサーをリセットして、色とシャープネスの精度を改善します。

※スキャナーをキャリブレーションする場合は、すべての画像が消去されますので、あらかじめ、バックアップを取るようにしてください。※参考P19の「スキャンした画像にアクセスする」

1. スキャナーの電源がオフになっていることを確認して、スキャナーのカバーを開きます。



2. 電源ボタンを押してスキャナーを起動します。スキャナーのカバーが開いているので、赤色のLEDが点滅します。
3. キャリブレーションモードにするには、電源ボタンを押し続けながらスキャナーのカバーを閉じて、電源ボタンを放します。キャリブレーションモードになると緑色のLEDが点滅します。



※電源ボタンは長く押し続けしないでください。電源ボタンを3秒以上押し続けると、スキャナーの電源がオフになり、処理を始めからやり直す必要があります。

4. 下の写真のようにキャリブレーション（付属品）の端を支えて、文章のある面を上向きにし、白い領域からスキャナーのフィーダーに挿入します。この処理で内蔵ディスクを自動的にフォーマットされます。



5. キャリブレーション処理が完了すると、スキャナーの電源は自動的にオフになります。
6. スキャナーの電源をオンにして、通常通り使用を続けます。

スキャナを掃除する

スキャンした画像の品質を維持して、埃が堆積することを防止するために、スキャナー（外側のケースと送りローラー）はおよそ 200 回スキャンする毎に掃除をしてください。または、スキャンした画像に線や縞が入る場合も清掃してください。

■ スキャナーを掃除する場合は、推奨ツールおよび付属ツールだけを使用してください。

警告：スキャナーの掃除には、溶剤や腐食性液体（アルコール、ケロシンなど）は使用しないでください。プラスチック材料が回復不能な損傷を受けることがあります。

- 写真のように丁寧にしっかりと親指をフィーダー内に押し入れ上に押し上げてカバーを開きます。こうすることで、スキャナーの上部が開きます。



- 付属のクリーニングクロスと送りローラーを丁寧に拭いて掃除をします。



トラブルシューティング

お客様サポート部門に連絡する前に、下の「よくある質問と回答」の一覧を参照してください

よくある質問と回答

質問	スキャナが 300dpi、600dpi、または、1200dpi の解像度でスキャンしている確認するにはどうすればよいですか。
回答	電源ボタンの色で選択した解像度が分かります：緑色 = 300 DPI、オレンジ色 = 600 DPI、赤色 = 1200 DPI。電源ボタンを押して解像度を変更します。
質問	スキャンした画像が PDF ファイル形式で保存されたことを確認するにはどうすればよいですか？
回答	インジケーターが青色に点灯している場合は、スキャンした画像は PDF ファイル形式で保存されます。（スキャナーの電源をオンして、電源ボタンを 3 回押し、インジケーターのライトが点灯します。）
質問	スキャナの電源がオンになりません
回答	バッテリーに十分な残量が無いか、正しく挿入されていない可能性があります。
質問	スキャンした画像をメモリーカードに保存できません
回答	SD カードが正しく挿入され、適切な空き容量があることを確認してください。
質問	付属 CD（OCR 付ファイル管理ソフト）に関してはどんな際に利用するのでしょうか？
回答	スキャナー内のデータを整理したり、文字データをテキストデータへ変換したい場合などにご利用頂けます。使い方に関しては付属ソフト内のヘルプよりご確認頂けます。ソフト名は PAPERPORT SE 14（Windows 版）です。

質問	USB ケーブルで接続されているとき、コンピュータでスキャナーを識別できないのはどうしてですか？
回答	ケーブル接続が正しく、しっかり固定されていることを確認してください。必要に応じて、コンピュータを再起動します。

質問	スキャンした画像が歪むのはどうしてですか？
回答	斜めに用紙を挿入していないか再度お試しください。

質問	スキャンした文書に線が出るのはどうしてですか？
回答	以下を確認してください。 1. 元の用紙に筋や汚れが付いていませんか？ 2. スキャンの前にもとの用紙の汚れや埃を取り除いてください。 3. 付属のクリーニングクロスでローラーとガラスを洗浄します。（P25「スキャナーを掃除する」を参照してください。）

質問	スキャンした画像の背景に赤またはグレーのラインが入るのはなぜですか？
回答	スキャンの実行に対して充電が不足しています。バッテリーを充電して再スキャンしてください。

質問	スキャナに触ると温かく感じますか？
回答	スキャンを長時間使用していると多少の熱を発生することがありますが、それは正常です。ただし、スキャナから異臭がしたり、スキャナに触ると少し熱く感じる場合、直ちにスキャナの電源をオフにして販売店までお問い合わせください。

質問	電源ボタンが早く点滅して、スキャンできない場合は、どうすればよいですか？
回答	次を確認してください： <ul style="list-style-type: none"> ・スキャンの内蔵ディスクが一杯になっていませんか？ スキャナーをコンピュータに接続して、ファイルを移動または削除してください。300 dpi 設定の場合は 2 MB 未満の残り容量、600dpi 設定の場合は 5 MB 未満の残り容量、1200 DPI 設定の場合は 15MB 未満の残り容量になると、スキャナーは内蔵ディスクが「一杯」であると認識して、電源ボタンが点滅します。 ・メモリーカードが一杯になっていませんか？ メモリーカードの残り容量が 15MB 未満になると、電源ボタンが点滅します。必要な場合は、他のカードを使用してください。 ・メモリーカードはカードスロットに正しく挿入されていますか？ カードを挿入し直して、もう一度お試しください。メモリーカードのファイル形式が FAT または FAT32 であることを確認してください。NTFS など、その他ファイル形式は対応しません。必要な場合は、スキャナーで使用する為に、メモリーカードを再フォーマットしてください。 ・フィーダーに紙が詰まっていますか？ スキャナーの電源をいったんオフにしてもう一度オンにし、用紙送りを続けます。用紙を取り除くことができない場合は、カバーを開けて、用紙を丁寧に引き出してください。 ・カバーが開いていませんか？ カバーが定位置にしっかり収まって入ることを確認してください。 ・前の用紙のスキャン処理が終了する前に、次の用紙を挿入しませんでしたか？ スキャナーの電源をいったんオフにしてからもう一度電源オンにして、再度お試しください。前の用紙のスキャン処理が完了してから、次の用紙をスキャンしてください。 ・用紙の長さが許容サイズを超えていませんか？ 詳細については、「適切な用紙の種類と不適切な用紙の種類」のセクションを参照してください。

質問	メモリーカードに保存したとき、スキャンしたすべての画像が同じ日付けになるのはどうしてですか？日付機能を搭載することはできますか？
回答	はい、スキャナーの時計の設定するには次のステップに従ってください。 ウェブサイト (http://tecno-site.co.jp) の製品ページまたはサポートページでこのポータブルオートスキャナーを探し、time.txt ファイルをダウンロードします。そのページを参考に設定を行ってください。 参考手順を明記しておきます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. スキャナーに SD カードが挿入し、バッテリーが充電されていることを確認してください。 2. スキャナーの電源をオンにし、USB ケーブルでパソコンに接続します。リムーバルディスクとして認識します。 3. ダウンロードした、「time.txt」ファイルを該当のリムーバルディスクドライブの直下にコピーします。 4. テキストファイルを開きます。テキストファイルには、YYYY(4桁)MM(2桁)DD(2桁)HH(2桁)MM(2桁)形式の文字列があります。これは年/月/日/時/分を示します(例：2013/06/15/07/30) 5. 日付と時間を変更して値を修正し、その後ファイルを保存します。 6. スキャナの電源をオフにしてからオンします。これでデバイスの時計設定が完了です。 文書をスキャンしてから、画像をメモリーカードに保存します。画像が正しい日付と時間で表示されます。 ※電力が低い場合はバッテリーを充電してください。バッテリーを交換したり残量が全くない場合は、充電して、再度上記リアルタイムロック設定のステップを繰り返す必要があります。

お買上げありがとうございました。

●正常なご使用状態で万一故障した場合、お買上げ日より **1 年間** は無料にて修理調整いたします。（本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。）